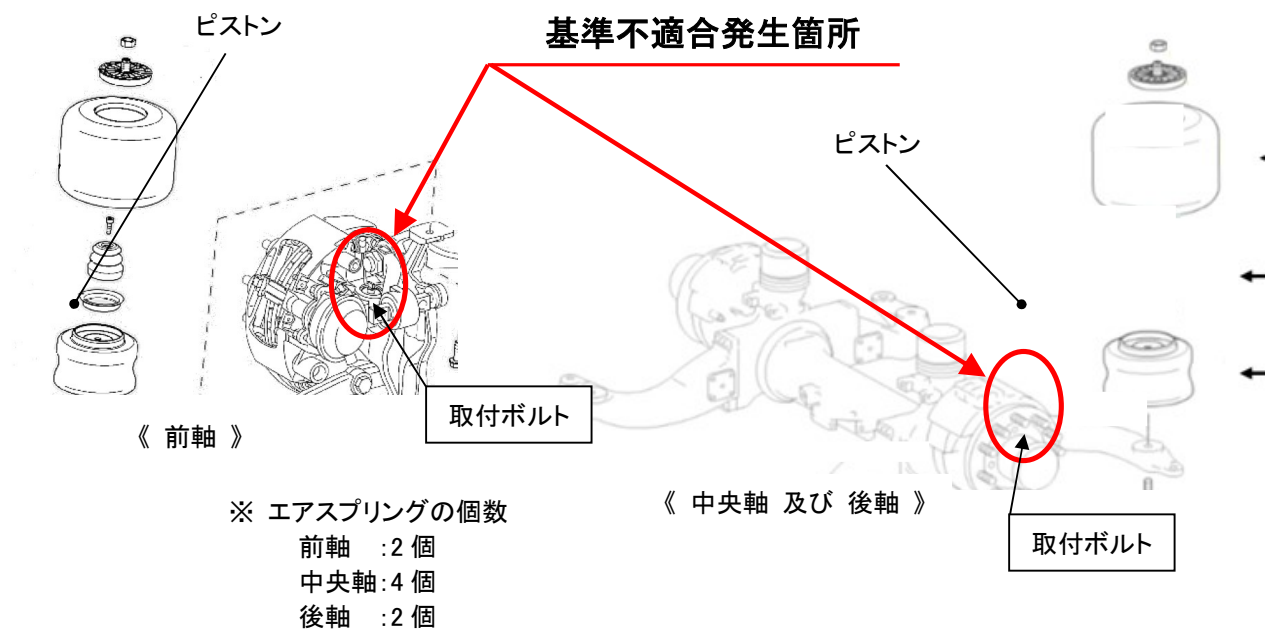
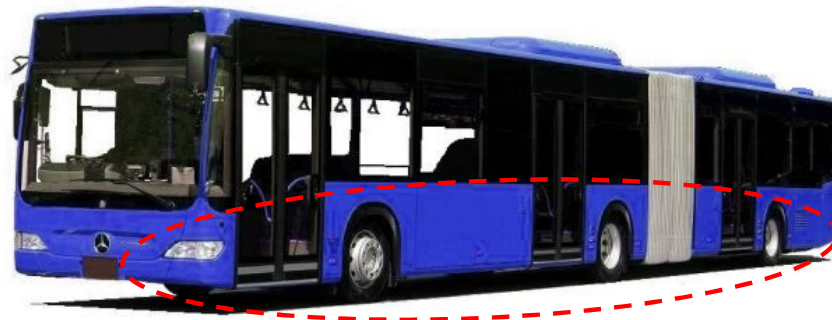


改善箇所説明図①



連節バスにおいて、車軸に装着されているエアスプリングのピストン取付ボルトが規定トルクで締付けられていないものがある。そのため、使用過程で当該取付ボルトが緩んでピストンが脱落するおそれがある。

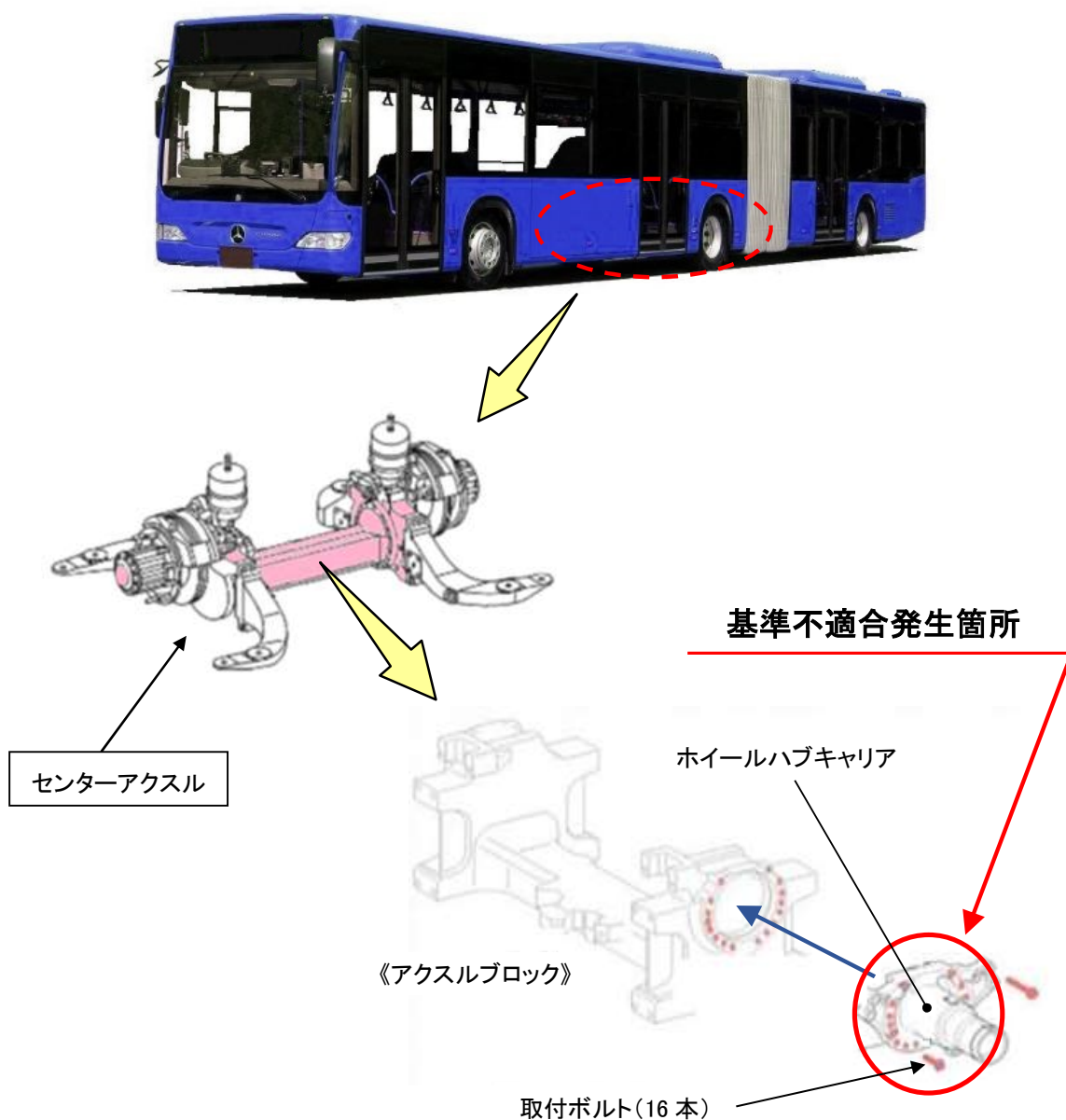
改善措置の内容

全車両、エアスプリングのピストン取付ボルトを規定のトルクで締付ける。

注 : は規定トルクで締付ける部品を示す。

識別 : 作業完了車には、車両左後方点検リッド裏に「HB214」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。

改善箇所説明図②



連節バスにおいて、センターアクスルに装着されているホイールハブキャリアの取付ボルトが規定トルクで締付けられていないものがある。そのため、使用過程で当該取付ボルトが緩み、最悪の場合、ホイールハブキャリアごとタイヤが脱落するおそれがある。

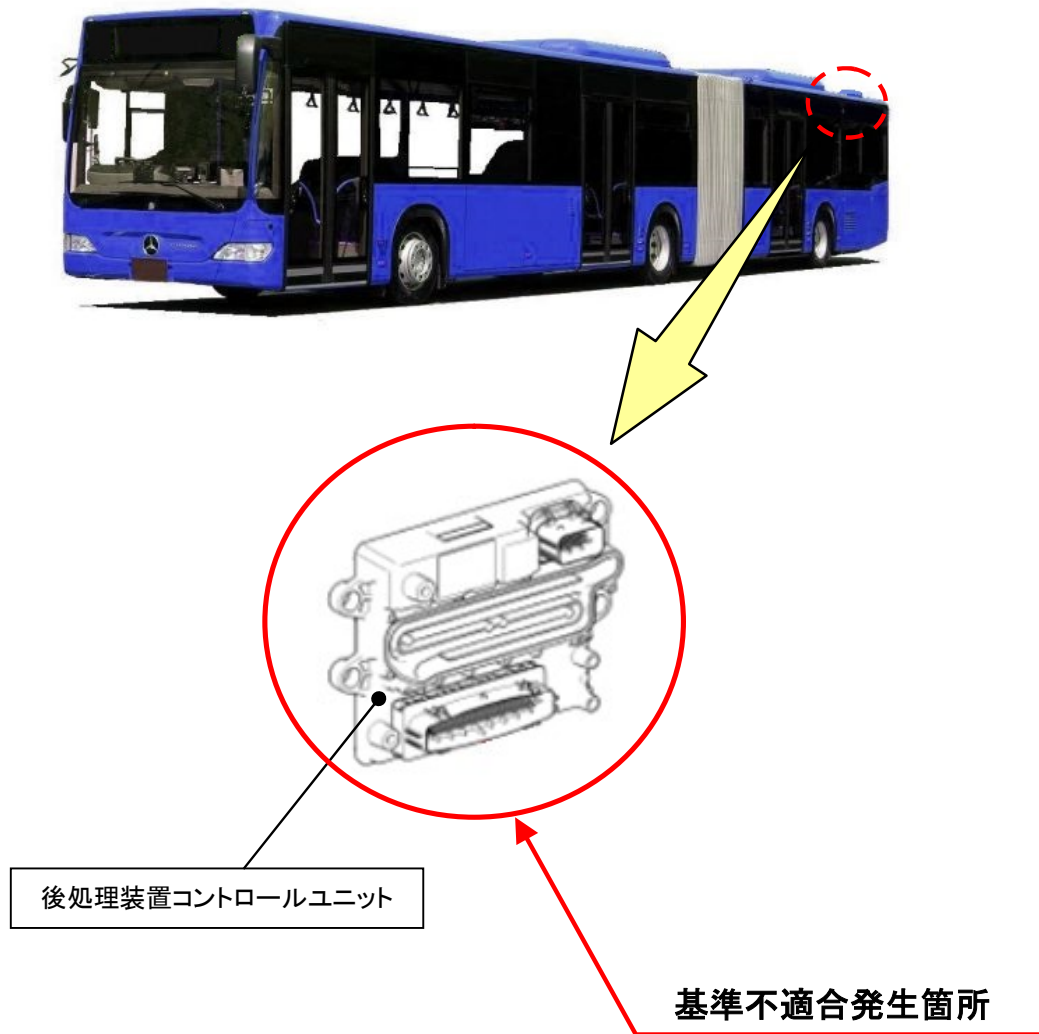
改善措置の内容

全車両、センターアクスルのホイールハブキャリア取付ボルトの締付け状態を点検し、当該取付ボルトに緩みが認められた場合は、センターアクスルを交換する。

注：□ は交換する部品を示す。

識別：作業完了車には、車両左後方点検リッド裏に「HB211」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。

改善箇所説明図③



連節バスにおいて、後処理装置コントロールユニットの制御プログラムが不適切なため、尿素水の温度センサーが故障した際に警告灯が点灯しない。そのため、ドライバーが当該センサーの故障を検知できない。

改善措置の内容

全車両、後処理装置コントロールユニットの制御プログラムを対策品に書き換える。

注：□ はプログラムを書き換える部品を示す。

識別：作業完了車には、車両左後方点検リッド裏に「HB212」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。